



開校150周年
明治7年開校
旭 覺

おい



大井小150周年記念
キャラクター「サニーちゃん」

《学校の教育目標》 仲よくする子 考える子 たくましい子

大井小学校の歴史を垣間見る

校長 抜井 由美子

窓から涼しい秋の風が入るようになりました。暗くなると、虫の音も聞こえてきます。
暑く、長い夏もやっと終わったようです。

さて、10月になりました。数年にわたって準備を進めてきた150周年記念行事も佳境に入ります。校長室にある古い資料を開くと漢字ばかりで読み取ることが難しいですが、生徒数という文字に続いて120という数字が書かれてあります。明治25年のことです。時を経て、昭和22年の児童数は581名で12学級、その後600～700名でしたが、昭和46年に1,000人を超えました。学級数は、27。この頃の1学級の人数は、45名であったので、どれだけ多くの児童が過ごしていたのでしょうか。学級名も昭和39年度までは「松・竹・梅」でしたが、40年度から1・2・3・・・組となっています。



本校の150周年記念事業には、ふじみ野市にもご協力いただいています。ふじみ野市立上福岡歴史民俗資料館が、「地域ふれあいルーム」（2階、3年1組の隣の教室）で、10月2日（火）～10月30日（水）まで写真展を実施します。また、ふじみ野市立大井郷土資料館（旧大井村役場）において、開校150周年記念特別展示「大井小学校150周年のあゆみ ～ふじみ野市の近代教育のはじまり～」を行います。期間は、令和6年10月23日（水）～11月27日（水）です。またとない機会です。ぜひ、足を運んでご覧ください。



10月12日（土）に開催する「大井小学校開校150周年を祝うつどい」に向けて合唱の練習会を2回実施しました。そこには卒業生も多く参加しました。9月12日（木）の公開音楽朝会にご来校いただいた多くの保護者の皆様、ありがとうございました。